

## 愛媛県立松山北高等学校中島分校

### 第74回卒業証書授与式

# 挨拶

春の陽光が降り注ぎ、海風に乗って春の息吹がここ中島にも届けられ、表情も和らぐ優しい季節になりました。中島の澄んだ空気にも春の香りが漂い、校庭の桜の木々は蕾を膨らませ、今にも弾けそうな今日の佳き日に、多くの御来賓の皆様、保護者の皆様、そして、ご卒業して50年の節目を迎えられた中島分校第24期卒業生の御臨席を賜り、令和五年度愛媛県立松山北高等学校中島分校第74回卒業証書授与式を盛大に挙行できますことは、この上ない喜びであり、深く感謝申し上げます。

本日、松山北高等学校中島分校は、14名の卒業生を送り出すこととなりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生、教職員、また、旧教職員の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

また、保護者の皆様には、本日、お子様の晴れ姿をご覧になり、感慨ひとしおのことと拝察いたします。コロナ禍という困難な状況が、中学の大切な最終学年から4年間続きましたが、御家族の皆様が、子どもの成長を願い、温かく見守りながら、励まし支え、時にはともに苦しみ、悩みを聞いていただき、一緒に学校生活を過ごすような気持ちで、毎日、学校に送り出していただいた深い愛情と献身に、敬意を表しますとともに、ご卒業を心からお喜び申し上げます。

卒業生の皆さんは、この中島での高校生活を振り返り、充実感や達成感で胸がいっぱいになっていることと思います。中島分校に通学するため、毎日

乗船時間に間に合うように早起きをして早朝に家を出て、港まで通学したこと、港からの小さな船旅を待つ棧橋で、天候の悪い中や真夏の暑い中、フェリーを待つ時間が辛く感じたこと、乗り物酔いや多くの乗船客で座席や居場所も見つからず苦勞したことなど、3年間の通学だけでも皆さんにとって自信につながる変え難い体験は財産であり、その小さな努力の積み重ねに称賛の拍手を送ります。

また、卒業生の皆さんは、中学3年から高校3年間の青春時代のご真ん中に、コロナ禍の最初から最後までを経験した世代でした。中学3年生でコロナ禍に直面し、学校行事や様々なスポーツ・文化的行事の多くが中止になり、混乱の一年間を乗り越えて高校に入学しました。その後も先行きが見えない不自由な学校生活でしたが、新たに出会った仲間と支え合い、できることを探りながら過ごした3年間は、先輩、後輩の垣根を越えて、全員が生涯の友たちとして、お互いを認め合い、信頼関係を深め合った高校時代になったことでしょう。

昨年秋に、愛媛新聞に保護者の方が投稿された記事は、中島分校の皆さんに元氣を与えてくれる内容でしたので、改めてその一部を紹介したいと思います。

「個性の花」、「青い海、紅葉が始まった島の山並みに心癒される。息子は毎日、こんな素晴らしい景色を眺めながら通学しているんだ、何とぜいたくと感じた。島の分校では、いつも優しく見守ってくださいる先生方、個性豊かで笑顔あふれる生徒たち、学校に協力的な地域の方々にも恵まれ、息子の『個性の花』は確実に大きくなりつつある。

生徒数が年々減少を続け、毎年存続の危機がある島の分校。息子のような個性あふれる子どもたちの居場所として末永く存続してもらいたい。」

「学校存続の危機」、まさに卒業生の皆さんは、後輩である2年生の入学者数の状況次第では、存続の危機感がさらに高まる可能性がある中、少数だからできる強みを生かした分校の魅力を見事に創り出してくれました。様々な学校生活の場面で仲間同士が支え合い、一人一人が主役にも名脇役にもなりきって活躍し、時には舞台監督として、仲間たちを名場面の主役となるよう演出してくれました。

皆さんが活躍した様々なステージを少しですが、紹介したいと思います。

何といっても中島の豊かな自然のフィールドと島の方々の温かい協力で実施できたサイクリング、マリンスポーツ、魚のつかみ取り、小麦やミカンの収穫、茶摘み、フィッシングなどの体験学習により島の魅力を満喫しました。そして、島の魅力を広く届けるため、NPO法人「なかじま移住推進課」を設立し、中島分校のホームページ上に、360°カメラで撮影した3種類のVR動画を公開し、中島の魅力を広く情報発信しました。さらにその動画にアクセスできる観光マップも作成して市内の関係各所に配付する活動も見事でした。

学校行事では、体育大会で、伝統行事の「道具踊り」や「中島音頭」、「中島小唄」を地元の方々から学び、島の伝統行事を継承する担い手として貢献してくれました。文化祭においても、各学年で取り組んだ「総合的な探究の時間」の成果や人権作文発表から、コーラスや水軍太鼓による表現活動まで、全員が主役から裏方の仕事まで、深い学びとそれぞれの個性が融合した素晴らしいステージに圧倒的な存在感があり、感動しました。

部活動では、素晴らしい挑戦をしてくれました。卓球部や男女のテニス部が挑んだ公式戦での戦いやその存在感を、関係者みんなが認めてくれる

活躍でした。音楽同好会は合唱部門の特別賞を受賞し、これからの可能性を感じさせてくれました。自転車甲子園では、自転車の技能や知識に加えてプレゼン力も発揮して見事3位に輝きました。皆さんが、試合で結果だけではない大切なものを手に入れてくれたと確信しています。

卒業生の皆さんに、昨年先輩方にも紹介した歌を紹介します。

「劫初(ごうしょ)より つくりいとなむ殿堂に われも黄金(こがね)の釘一つ打つ」

松山北高等学校中島分校が創立されて70年以上の歴史に、皆さんが中島で過ごした学びの一つ一つが、価値ある軌跡として、鮮やかに残りましました。そして皆さんの心の中にも、光り輝く宝石のような思い出になってくれると信じています。皆さん一人一人が中島の高校生活に自信と誇りを持って、旅立ってほしいと願っています。

結びに、中島分校を巣立ってゆく14名の皆さんが仲間とともに中島で学んだ高校生活のすべてに拍手を贈るとともに、14通りの個性が輝いた未来が待っていることを祈って、式辞といたします

令和六年三月一日

愛媛県立松山北高等学校長 友澤 義弘